【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成19年9月6日(2007.9.6)

【公開番号】特開2006-53190(P2006-53190A)
【公開日】平成18年2月23日(2006.2.23)
【年通号数】公開・登録公報2006-008
【出願番号】特願2004-232743(P2004-232743)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｇ　15/16　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｇ　15/16

【手続補正書】
【提出日】平成19年7月20日(2007.7.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
＜４＞　３５℃の温度下で、ベルトに３９．２Ｎの張力をかけたときのベルト周長方向の吸湿膨張率が２０ｐｐｍ／％ＲＨ以下であることを特徴とする前記＜３＞に記載のポリイミド樹脂無端ベルトである。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５８】
－ポリイミド皮膜形成工程－
本発明のポリイミド樹脂無端ベルトにおいては、ベルト中に残留する溶媒量を１．５質量％～５．０質量％とする必要があり、また、第１のポリイミド樹脂無端ベルトにおいては更に、ベルト外周表面から膜厚方向へ３μｍ以内の領域に存在する溶媒量を０．１質量％以下とする必要がある。そのためには、ポリイミド樹脂の種類によって詳細は異なるものの、イミド化反応開始温度（２４０℃～２８０℃）まで急速に加熱し、短時間でイミド化反応を終了させた後、急速に冷却する必要がある。